

# 令和6年度 シラバス

教科名	情報	科目名	情報I (1年次)	単位数	2
授業形態	実習および講義				
選んでほしい生徒	1年次生全員 (必履修)				
科目の目標	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	コンピュータ等を利用し、情報を適切に収集・処理・発表するために必要な知識と技能を、実習を通して身に付ける。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 情報社会と問題解決</p> <p>第2章 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【2学期】</p> <p>第3章 情報とコンピュータ</p> <p>第4章 アルゴリズムとプログラム</p> <p>【3学期】</p> <p>第5章 モデル化とデータの活用</p> <p>第6章 ネットワークと情報システム</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の手順について学習する。</li> <li>・情報を効果的に伝達する方法について学習する。</li> <li>・コンピュータでのデジタル表現について学習する。</li> <li>・プログラムの基礎について学習する。</li> <li>・シミュレーションとデータの活用について学習する。</li> <li>・ネットワークの仕組みや情報セキュリティについて学習する。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<p>・情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間との関わりについて理解している。</p>	<p>・事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。</p>	<p>・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。</p>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、実習、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<p>1 授業中の実習課題が多いので、休まず授業に出席して、各作品をきちんと提出しよう。</p> <p>2 定期考査は、それぞれの分野について授業で学習したことが出題されるため、教科書だけでなく授業中の先生の話なども、メモしておいて、考査前に見直すとうい。</p>				
教材費	補助教材	30時間でマスター Office 2019	1,100円 (税込)		
	図説 情報I 学習ノート		670円 (税込)		
その他	特になし				